



福祉大会の様相

日身連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
 発行人 阿部 一彦
 東京都豊島区目白3丁目4の3
 デアダンクビル4階
 TEL 03-3565-3399(代)
 FAX 03-3565-3349
 http://www.nissinren.or.jp

Japanese Federation of Organizations of Disabled Persons (JFOD)
 年間購読料 正会員1部 300円
 非会員1部 1000円

第61回日本身体障害者福祉大会 きようとと大会 盛大に開催

第61回日本身体障害者福祉大会きようとと大会が、5月11日(水)・12日(木)の2日間、にわたり、京都府京都市で開催されました。今号では、好天に恵まれ、全国から約27000人の参加者を得て、京都パルスプラザにおいて行われた、大会2日目の式典と議事の模様をお伝えします。

【第1部・式典】

◆開会宣言・実行委員長・大会会長・知事・市長あいさつ

大会は、京都市立芸術大学の皆さまによる金管楽器によるアンサンブル演奏でオープニングを飾っていただき、小西慶一副会長の力強い開会宣言で幕を開けました。国歌斉唱に続き、熊本地震でお亡くなりになられた方々、松井逸朗前会長ならびに物故会員の皆さまに黙祷をささげたあと、大会実行委員長の福山哲郎京都府身体障害者団体連合会会長が地元を代表して、心からの



京都パルスプラザ



阿部一彦会長

もに、今年4月、障害者差別解消法が施行されたことについて、施行をゴールではなく、スタートとして、今後は法律への理解啓発とともに条例の制定へと動かしていくことが、私たち障害者団体の役割であると、力強く抱負を述べました。続いて開催地の京都府知事の山田啓二氏(代理出席)、京都市長の門川大作氏より、当地での大会を歓迎するごあいさつを頂戴いたしました。

◆日身連会長表彰

各加盟団体からの推薦を受けた、障害者福祉に貢献された会員の功績をたたえて表彰が行われ、54名の方が受賞されました(受賞者名は、3面に掲載)。また、受賞者を代表して京都府の清本隆行さんが阿部会長から表彰状を授与されました。

◆来賓あいさつ

塩崎恭久厚生労働大臣(代理出席)から、「今後、皆さまが地域社会の中で

生き生きと充実した生活を送られるよう、皆さまの意見を十分お聞きながら、共生社会の実現に努めていきたいと考えています」という、あたかいかいごあいさつをいただきました。

【第2部・議事】

岡田和隆副会長(議長)、竹下義樹京都市身体障害者団体連合会副会長(副議長)、古田健二岐阜県身体障害者福祉協会副会長(副議長)が議長団となり、議事を進行了ました。「平成27年度事業報告」(次号掲載)が森祐司常務理事・事務局長から、「平成28年度事業計画」(4月号掲載)が阿部会長から報告されました。続いて、前日に行われた政策協議の報告がなされた後、「大会宣言」「大会決議」(3面掲載)が読み上げられ、すべての議案・報告が満場の拍手で採択されました。

最後に次期大会開催地である岐阜県身体障害者福祉協会の古田健二副会長のあいさつのおと、土岐達志副会長が「閉会のことば」に続いて「がんばろう」を力強く三唱、盛会のうちにすべての議事が終了しました。参加者からは「一度は訪れたかった京都にはじめて来られて感激です」「全国のみなさんの力強いお話を聞いて、とても元気になりました」などの声が寄せられました。

なお、大会1日目は、新都ホテルを会場に、午前には日本身体障害者団体連合会評議員会が、午後には政策協議として講演とシンポジウムが開催されました。大会1日目の模様は、次号にお伝えします。